

基本項目記入数 25

チャレンジ項目記入数 11

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・事業所から排出される廃棄物は免許を持った業者と契約し、処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・「簡易計算シート」により自社のエネルギー使用量を把握し、削減に取り組んでいる。 ・防熱フィルム/省電力型エアコン導入、LEDによりオフィスの節電に取り組んでいる。								7.3						13					
	24	【温暖化対策】 自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・「簡易計算シート」により自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減に取り組んでいる。 ・社用車を1台ハイブリッド車とし、CO2排出の抑制に取り組んでいる。			2.4						7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・環境に配慮した材料、製品、サービスの提供を通じて、生物多様性の保全に取り組んでいる。 ・緑地の整備など、生物の生息・生育地の創出に取り組んでいる。 ・従業員の活動において、廃プラやレジ袋などの使用削減に取り組んでいる。							6.6									14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・再生用紙やエコ商品の販売・利用を推進している。 ・社内、お客様先でのペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。 ・環境に配慮した材料、製品、サービスの提供・利用を通じて、生物多様性保全に取り組んでいる。												9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15	
	27	【水の管理】 熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」や「汚水等の適切な処理」を実施している。流水による冷凍食肉の解凍を廃止し、解凍機を採用している。 ※事務所の蛇口に「節水」の張り紙			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・動力用省エネ装置を利用し、冷蔵・冷凍設備やエアコンを制御し使用電力の削減を目指している。 ・再生用紙やエコ商品の販売・利用を推進している。												9.4			12.4 12.5	13	14	15	
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・熊本県のフードドライブ活動に参加している。			1	2				6.4							12.3		14	15	17
	30	【緑の保全管理】 壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・本社を新しく建設した際に植栽計画を行った。														11.6 11.7		13.1 13.3		15	17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・取り組みの一環としてLED照明・省電力型エアコンを導入するなどして節電、再生エネルギーの利用・供給に取り組んでいる。 ・社用車 2台EV2台をハイブリッド車としている。 ・地熱発電など、再生可能エネルギーを利用(供給)している。										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3			
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 "伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●										6				9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15
	33	【植林等の取組み】 植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●										6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15
	34	【海洋ごみ】 環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																		12.2 12.5		14	
35	【環境に配慮した交通手段】 電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			EV自動車、ハイブリッド車の導入している。											9.4			11.2		13.1 13.3			
36	【2050年CO2排出実質ゼロへの取組み】 2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●												7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13			17.2

